

中央公民館からのお知らせ

申込/問い合わせ 横越町中央3丁目2番8号
 ☎ 385-2043 FAX 385-4431
 Email kouminkan@town.yokogoshi.niigata.jp
 開館時間 火～日曜日 午前9時～午後10時
 月曜日 午前9時～午後5時

絵本・おはなしを 楽しむ会

中央公民館では、子どもたちが楽しみながら言葉と想像力を育むように、毎週第2金曜日に絵本の読み聞かせ会を開催しています。

- ◆日時 3月12日(金) 午後4時15分～4時45分
- ◆対象 保育園児～小学生 保護者の方もOK!!
- ◆会場 中央公民館 2階和室
- ◆入場料 無料!!



申し込み不要ですので、保育園の帰りなどに会場においで下さい。

俳句募集

- ◆句題 ゆきどけ こめ はち 蜂 雪解 木の芽
- ◆〆切 3月22日(月)
- ◆投句方法 葉書または封書で6句以内、原稿末尾に住所・氏名・俳号を明記してください。漢字にはフリガナを振り、略字・くずし字は使用しないでください。
- ◆あて先 中央公民館「文芸作品」係

成人式のご案内

成人式を下記のとおり挙行いたします。12月下旬に案内状を対象者に送付しましたが、横越町に住居登録がない方には案内はがきを送ることができないため、住所を移された方で出席を希望される方は、中央公民館まで連絡をお願いします。

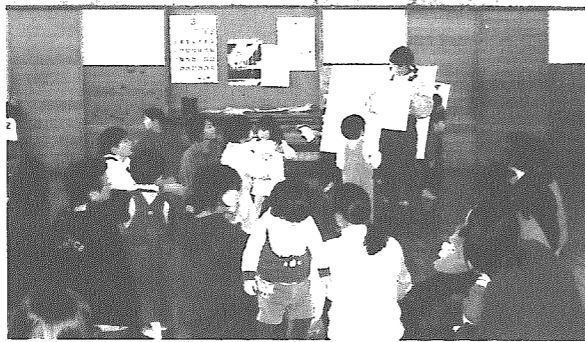
- ◆期日 3月20日(土) 春分の日
- ◆受付 午後1時30分より
- ◆式典 午後2時～3時
- ◆会場 サンウイング横越 (川根町2丁目)
- ◆対象者 昭和58年4月2日～昭和59年4月1日生まれの町内在住者および横越中学校卒業又は在学された方。
- ◆記念写真 1枚1,200円(送料を含む)

式典はどなたでも観覧できます。新成人の門出を地域みんなで祝福しましょう。

子育てはみんなで楽しもう!! 子育てランド 参加者募集!!

平成16年度の子育てランドの参加者を募集します。保育園入園前の幼児とその保護者同士のふれあい・交流の場として開催しています。参加者は自分たちで遊びや行事を考え、運営していきます。友達を作り、子育ての悩みを一緒に考えましょう。

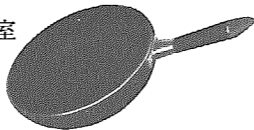
- ◆日時 毎週月曜日 午前10時～12時
- ◆会場 中央公民館 1階講堂
- ◆参加費 毎月500円(子ども1人増につき200円増)
- ◆定員 20組
- ◆申込方法 中央公民館窓口にて
- ◆〆切 3月22日(月)



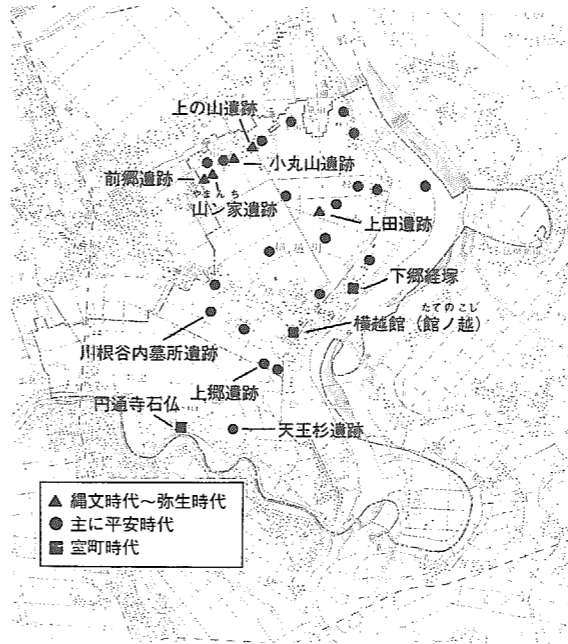
春休み!! 子どもお菓子作り教室 参加者募集中!!

絵本の「ぐりとぐら」に出てくるカステラをフライパンで作ってみませんか? きいろ～くて、あま～いカステラです!! ホットチョコも作るよ!

- ◆日時 3月30日(火) 午前10時～12時
- ◆会場 中央公民館 実習室
- ◆対象者 小学1～3年生
- ◆定員 16名
- ◆材料費 300円
- ◆申込 中央公民館へ電話で申し込んで下さい。
- ◆〆切 3月15日(月) 定員になり次第締め切らせて頂きます。



横越町遺跡分布図



その昔、先史時代の日本各地の人々は、古くは山岳部に住み、狩猟・採集を中心とした生活を営んでいました。当町には山らしい山はありませんが、亀田砂丘の一部となっている藤山・駒込地区からは、縄文時代前期末(約5000年前)以降の土器や石器、また、奈良・平安時代(約1100年前)の土師器や須恵器などが出土していることから、砂丘上こそ、平野部で最も古くから人々が住んできた場所の一つでした。特に、弥生時代中期後半(約2000年前)、亀田砂丘上には、緑色凝灰岩を原石とした管玉製作遺跡が連続し、出土遺物から東北・信州・北陸西部・会津の人々が混在して生活していた痕跡が見られます。このほか、町内には、現在も水田の中の微高地や畑地となっている旧自然堤防上(旧河川脇

一方、平安時代後半から室町時代にかけては、遺跡が極めて少なくなります。これは、当時の遺跡と現在の集落が重なって存在しているためかもしれません。しかし、中世には、この地が阿賀野川・小阿賀野川の水上交通における拠点の一つとして、重要な役割を担っていたことがうかがえます。特に木津は、鎌倉時代から戦国時代末までの文献に登場する有力者木津氏と関係が深い港町だったと考えられて



↑「ヨココシ」と「横越」の文字が記載されている。

横越町の歩んだ道を振り返ってみよう 横越歴史探訪① 古くから人々が生活していた横越



縄文時代晩期中ごろ(約2700年前)の祭祀で使われた芸術的な浮彫り装飾の石冠。駒込地区小丸山遺跡出土。に土砂が堆積して盛り上がったところ)にも遺跡があり、縄文時代晩期終末(約2500年前)以降の遺物が発見されています。平安時代になると、中央や地方の有力者による平野部の自然堤防上の開発が急激に進み、町内でも遺跡数が増加します。国道49号バイパス工事に伴う上郷遺跡の発掘調査成果によると、平安時代中ごろの9世紀末から10世紀前半には、すでに現在の横越町の集落の原型ができていたことが明らかとなりました。

います。川は当時の交通路として最も便利なもので、阿賀野川は越後と会津を結ぶ交易水路として、塩などを運搬する重要な動脈となりました。そして、戦国時代真つ只中の永祿7年(1564年)には、会津から阿賀野川を下ってきた京都醍醐寺の旅僧によって、「横越」という地名が初めて文献に記録されています。